

きゅうしょくだより

平成30年10月
かんのん町保育園

食欲の秋・・・おいしい「音」ってどんな音？

食べ物に関する音やイメージを表す言葉を集めてみました。
それぞれの言葉からどんな食べ物が思い浮かぶでしょうか。

あつあつ ……	スープ、グラタン、ラーメン、豚汁
かりかり ……	いりこ、あられ、せんべい
さくさく ……	クラッカー、クッキー、パイ
しゃきしゃき…	セロリ、さやえんどう
つつつつ ……	うどん、春雨、スパゲティー
ぬるぬる ……	おくら、モロヘイヤ、なめこ、納豆
ぷるぷる ……	ゼリー、くずもち
ほくほく ……	ふかし芋、コロッケ、かぼちゃ

日本語は食の表現が豊か
です。他にも探してみてくださいね。



♪ 日本には、おいしい音がたくさんあります ♪

- ・食べるときに音を出すのは、欧米ではマナー違反ととらえられます。ですが、日本では麺類を食べるときの「つつつつっ」という音は、「おいしそうだな」という食欲につながっています。
- ・そばやうどんを食べるときに音がでるのは、汁に粘り気がなく、勢いよくすすらないと口に入っていないからとされています。ところ変わればマナーも変わるのをおもしろいですね。

♪ 食べているとき、口の中ではどんな音がするかな？ ♪

- ・私たちは、自然に自分や周りの人の食べる音を聞いています。隣で何かをおいしそうに食べている人がいたら、その音を聞いてつい食べたくなりませんか？
- ・食事のとき、子どもたちに「口の中の音」を意識してもらうと、食欲が増したり、よくかんで食べることができるようになっていきます。
- ・きゅうりなどかんでいる音がわかりやすいものを、まず大人が食べて、様子を見せてあげましょう。そして、子どもの口に入れてから、「音がきこえなくなったら、ごっくんしようね。」と声をかけると、子どもたちは驚くほどよくかんで食べるようになります。

♪ 「食事の支度」の音は心地よい思い出 ♪

- ・朝、布団の中で聞く「トントントン…」と包丁の音。ごはんが炊ける「グツグツグツ・・・」と鍋の音。子どもの頃、朝ごはんを作っている音で目覚めた記憶は、心地よいものとしていつまでも心に残っていることが多いのではないのでしょうか。
- ・今、子どもたちをどんな音で起こしてあげたいですか？大人が子どもたちを幸せな音で包んであげたいものですね。